

若者視点でまちだをプロデュース

市では、「町田市子ども憲章」の精神を实践する場として「子ども委員会」を組織する等、子どもたちがイベント等の企画運営に参加できるよう努めています。子ども自身が「まち」への愛着を持ち、住み続けたいと思える「まち」を目指すため、市の施策に子どもの意見を取り入れる取り組みを進めています。☎児童青少年課 ☎724・4097



若者が市長と語る会

将来を担う世代に地域への関心を高めてもらう取り組みとして、高校生を中心とした若者世代を対象に、自分たちの住んでいるまちの未来や夢・希望などを市長と気軽に語り合う会です。

子どもセンターばおで実施

今年度4回目は、ばおで実施しました。和やかな雰囲気の中で、若者と石阪市長はゲームをしながら町田に関する話を話し合いました。



☎市民協働推進課 ☎724・4362

町田市市民参加型事業評価

市民の皆さんの声を行政経営・行政サービスの向上に生かすため、2年に1度、市民参加型の事業評価を実施しています。

今年度は、高校生世代の声を市政に反映することで、子どもにやさしいまちを実現するため、高校生世代の若者の話し合いによって評価対象事業を選び、すべての事業に評価人として参加しました。

市HP [市民参加型事業評価](#) [検索](#)

※評価結果は町田市ホームページ等で公開を予定しています。

☎経営改革室 ☎724・2503



町田創造プロジェクト(MSP)

5年後、10年後、20年後という未来を「大人」だけでなく「これから大人」になる若い皆さんと一緒に考え、そのアイデアや発想を町田の魅力創造や発信、市の計画づくり等の事業に反映しています。



こんな場面で意見が反映されています

- ▶ 新・町田市子どもマスタープラン
- ▶ 芹ヶ谷公園「芸術の杜」プロジェクト
- ▶ (仮称)まちだ未来づくりビジョン2040
- ▶ 町田市公共施設再編計画

直接、事業所管課の方と議論したことは新鮮でした。若者として少しでも町田に貢献できていたら嬉しいです。



市民評価人(高校生) 佐野さん

大人だけでは出てこない、高校生ならではの意見が聞けました。こうした新しい視点も今後の市政に必要なだと思います。



市民評価人 荻野さん

ユニセフ日本型子どもにやさしいまちモデル 検証作業に参加しています

1989年に採択され、1990年に発効した「子どもの権利条約」を市町村レベルで具体化するプログラムの日本版で、子どもにやさしいまちづくりができてきているかを検証する作業です。町田市は、町田市市民参加型事業評価や子どもセンターを始めとする子どもの居場所づくり等が評価されたことがきっかけで、この検証作業に参加しています。



検証作業の委嘱状交付の様子

「子どもにやさしいまち世界サミット2019」に市内の学生が日本代表として出席しました

子どもにやさしいまちづくり事業(CFCI)の促進と「子どもの権利条約」の採択30周年を記念し、ユニセフとドイツのケルン市が主催する「子どもにやさしいまち世界サミット2019」が10月に開催されました。



日本代表として市内在住の中学1年生の海野愛乃さん、高校2年生の立本浩大さんが、石阪市長と共に出席し、海外の子どもたちと英語で意見交換を行いました。世界32



か国65人の子どもが参加し、子どもの権利や世界の取り組みについて学び、子ども

にやさしいまちを推進するために自治体が取り組むべきことを話し合いました。世界の首



長による「子どもにやさしいまちづくり共同宣言」に反映されるよう、子どもたちが考える「子どもにやさしいまちを推進するために若者が行うこと」を発表しました。